

予防鍼灸研究会（SGPAM）

第 14 回定例会抄録

テーマ：パーキンソン病への新たな
一手 山元式新頭鍼 YNSA

2023 年 6 月 25 日

目次

慢性疾患の遠隔治療～鍼、直接灸、台座灸、温灸の使い分け～.....	米山 明子	2
山元式新頭鍼療法 YNSA～パーキンソン病を例にして～.....	富田 祥史	3

慢性疾患の遠隔治療

～鍼、直接灸、台座灸、温灸の使い分け～

米山ビッグママ治療室 米山 明子

「抄録」 目的：古来より鍼灸治療においては痛む場所、症状のある局所へのアプローチも行うが、慢性疾患の治療では特に遠隔部位を取穴し治療することが功を奏することも多い。同じ経穴を使用しても鍼と灸では効果が違う。さらに灸でも直接灸、台座灸、温灸などそれぞれの道具によって違いがある。今回は、同一取穴、同一患者で、アプローチの仕方によりどのように効果の違いが生まれるか試みた。対象：慢性疾患の同一患者に遠隔取穴による鍼灸治療を鍼、直接灸、台座灸、温灸器を用いて行った。結論：治療後の感想を患者から聴取したところ、鍼、直接灸、台座灸、温灸器それぞれに特徴的な差が生じたので報告する。考察：首肩など上焦に効果的と言われる下腿経穴の取穴が、アプローチ方法により、様々に有効かつ違いのある結果をもたらした。下腿そのものに効果的であったり、下腿から足先までの血流改善から全身状態の好転をみたり、翌日の体感がかなりちがうなど。これらの特徴を知り、意識的に使い分けることにより、より効果的な鍼灸治療のヒントとなるのではないかとと思われる。

(本文 452 字)

山元式新頭鍼療法 YNSA

～パーキンソン病を例にして～

富田 祥史

康祐堂鍼灸院 院長

康祐堂株式会社 代表取締役

一般社団法人山元式新頭鍼療法 Y N S A 学会 理事 関西支部長

「抄録」 宮崎県の医師「山元敏勝」先生によって考案され YNSA(山元式新頭鍼療法)は、日本ではあまり知られていませんが、海外では最もプラクティショナーの多い日本発の頭皮鍼として知られており、世界中の医師や医療従事者が実践する非常に有名な治療法です。YNSA は脳梗塞・脳出血・パーキンソン病、麻痺等中枢神経疾患だけでなく肩こり・腰痛・膝の痛み・しびれ・めまい・耳鳴りなどの疾患に非常に有効なことが知られており、世界 14 カ国、10 万人以上の医療従事者が施術を行っています。

今回のセミナーでは初心者のための山元式新頭鍼療法 YNSA のイントロダクションセミナーとして、YNSA の実際の治療点やプロトコールについてお話します。パーキンソン病の症例についてもご紹介する予定です。YNSA 学会の臨床実践セミナーは初級 1・2 中級 1・2 上級 1・2 と 6 日間にわたって受講するセミナーです。内容が多岐にわたるため限られた時間ではありますが、できるだけ YNSA 臨床のエッセンスをお伝えできればと思います。

(本文 445 字)